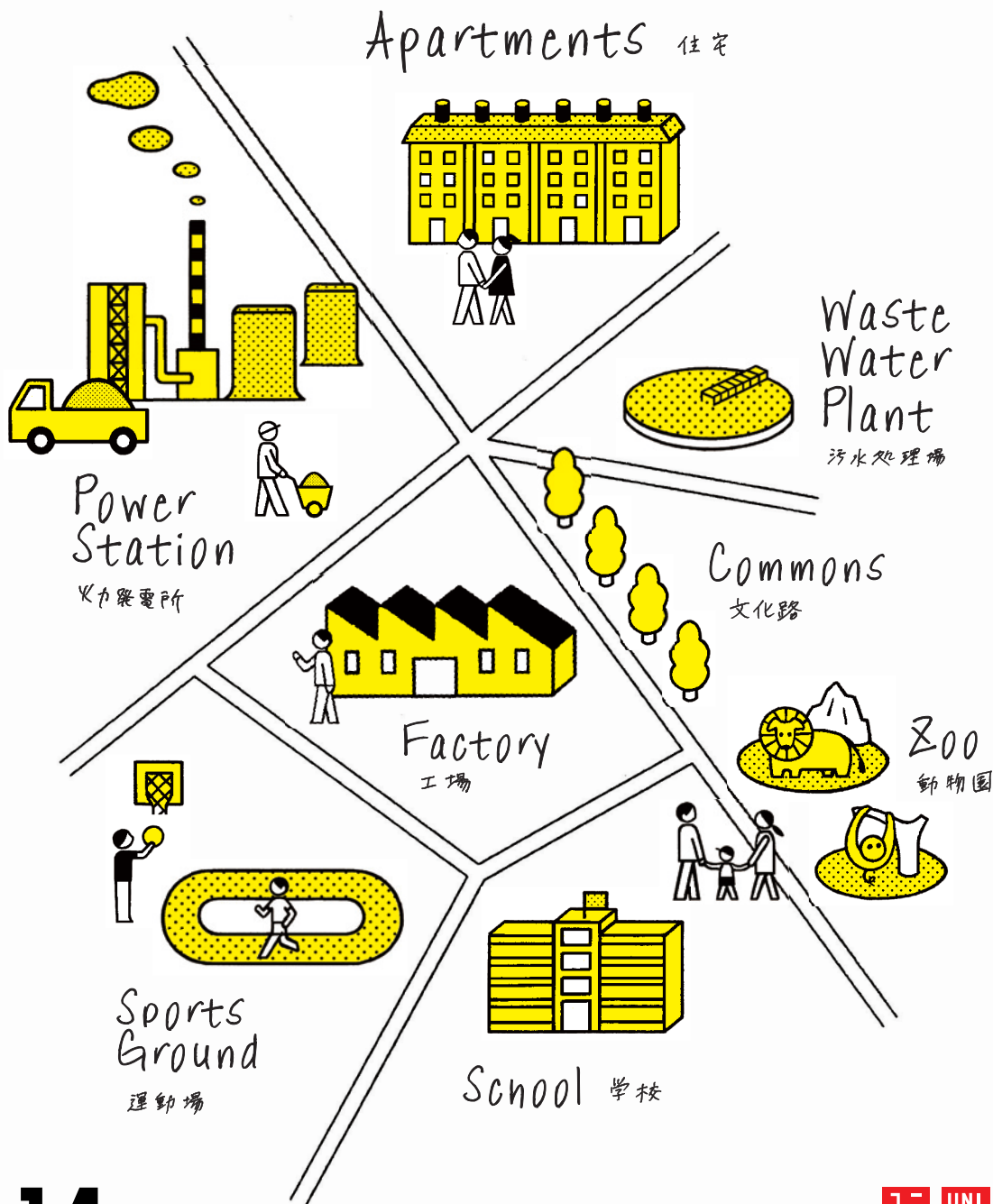


服のチカラ

世界を良い方向に変えていく

特集 環境と社会のためにできること



世界を良い方向に変えていく

服のチカラ

14

表紙イラスト：添田あき



環境と社会の ためにできること

一枚のシャツに、必要なものとは何でしょうか？

原材料は、畑で栽培される綿花。綿花から糸がつむがれ、糸が染められ、生地が織られます。生地は裁断され、シャツに縫製されます。それらの工程に必要なものは、電気、水、染料。そして、機械を操作する人間の労働力。環境が生み出す資源は、労働力も含めて、すべて有限のものばかりです。

ユニクロのシャツの生地をつくる素材工場が、中国の山東省にあります。

魯泰（ルータイ）紡織株式会社。生地の生産量と品質は世界トップクラス。さらに注目を集めているのは、工場の排気、排水による環境汚染対策をインフラ整備にまで運動させていること。また、学校教育の共同運営にも取り組んで、地域経済と人材の育成に積極的に貢献していること。ユニクロの取引先工場が多くある中国において、企業と地域社会が共生するための、モデルケースとなりつつあるようです。

環境と地域社会のために、企業がすべきこと、できることとは何か。山東省淄博（ズィーボ）市を訪ね、工場と地域社会のかかわりを見学しながら、そこで働く人、経営者に話を聞きました。



魯泰紡織株式会社
織布部門 班長

李丹 (リ タン)

一番幸せなのは 4歳の娘と遊んでいるとき

ユニクロのシャツの生地を製造する世界最大規模の素材工場「魯泰(ルータイ)」で働く人たち。中国の山東省で生まれ育った李丹さんは、環境問題の実態とその変化も見てきた。産休育休を経て、夫と子どもと暮らしながら働く李丹さんの生活と意見。

私が高校生の頃は、スモッグがひどかったです。運動場で体操をしていると呼吸が苦しくなって気分が悪くなるほどでした。川もひどい匂いがしていたのを覚えています。

私が今勤めている魯泰(ルータイ)の工場区域は何倍にも広がりましたが、川はもう匂いしません。舗装道路に街路樹が植えられて、映画館や書店、レストランもできて、十数年前の昔とは、街はすっかり変わりました。

生まれたのは、少し離れた農村部です。大人がよくルータイの話をしているのを耳にしましたから、小さい頃から馴染みがありました。福利厚生や待遇が良く、きちんとした会社だといわれていました。

ルータイ職業学校で紡績を学んで、卒業してすぐに入社しました。6年前に結婚して、今4歳の子どもがいます。夫とは社内結婚です。私のまわりも社内結婚が多いです。家では会社の話は減多にしません。いったん帰宅したら、家族の方が大事ですから。

産休育休は1年取りました。子どもが1歳になるまでは毎日、勤務中に2回、授乳の時間をもらいました。帰宅して授乳して、また工場に戻ります。家は工場から近いし、授乳時間は40分ありますから、急がなくても大丈夫でした。

2012年にマンションを買って引っ越すまで、夫の母と同居していました。私が働いて家を留守にする間、幼い娘の面倒を見てくれました。今暮らしているマンションは、ルータイが設計、建設したものです。

市内には何棟もあって、従業員には特別価格で販売してくれますから、とてもありがたい制度です。

娘が3歳になってから幼稚園に入れました。送り迎えは夫と手分けして、ときどき義母にも手伝ってもらって、やりくりしています。去年は一度も残業をすることがありませんでしたから、予定は立てやすいですね。

2012年から織布部門の班長になり、約40人の班の作業を見るようになりました。品質の管理、台の稼働率の確保、修理対応の指示はもちろんですが、従業員に仕事上の悩みがないか、生活面で何か困っていないか、相談しやすい雰囲気をつくって、話を聞いて、前向きに働いてもらえるように改善する。それも、私の重要な仕事です。

ルータイのファッションモデルもやっているんですよ。社内公募で選ばれました。会社のショールームで開くファッションショーや、上海で開かれる国際展示会にも出張します。織布の仕事は緊張しますが、モデルの仕事はひたすら楽しい(笑)。でも、今一番幸せなのは、やっぱり4歳の娘と遊んでいるときですね。

娘が大人になったらですか？ どんな仕事をするかは娘の選択を尊重します。けれど、ルータイに入りたいというようになったら、絶対に応援します。従業員を大切にしている会社ですし、山東省の先頭に立って環境問題にも取り組む会社ですから、自信と誇りをもって「それはいいわね!」というでしょうね。





魯泰紡織株式会社
代表取締役会長

刘石祯 (リュウ シーツェン)

正しい道を歩んでこそ 利益を得ることができるのです

極貧の家庭に育ち、額に汗して働きながら、やがて認められていった青年期を経て、中国はもとより、世界トップの生地メーカーとして成長を続ける魯泰(ルータイ)の創業者は、環境問題とどのように取り組み、従業員の幸福をいかに考えているのだろうか。

とても貧しい家だったので、トウモロコシと雑穀の粉でつくる饅頭すら買えませんでした。高校二年で授業料が払えなくなり、退学しました。炭坑の技術労働者養成学校に移ったのです。ここは給食つきでした。

まもなく小さな炭坑で働くようになり、暗い地下で石炭を掘り、トロッコに積んで、また掘って……と働き続けました。

ひ弱で体格も良くなかったのですが、炭坑で働くうちに体力もつき、模範労働者に選ばれました。採掘現場から技術担当に移ってしばらくすると、生まれ故郷であるここ山東省淄博(ズイーボ)市の石炭

採掘会社に引き抜かれました。

ズイーボは、石炭、鉄、アルミの鉱山に恵まれた、中国でも経済発展がいちじるしい地域です。しかし鉱山はいずれ掘り尽くされます。採掘量が減ってくると、今度は紡織工場に移るよう命じられました。私にとっては大きな転機でした。1990年のことです。

タイとの合弁で紡織工場を始めました。日本輸出入銀行から融資を受け、日本の設備を導入し、機械の設置、調整、技術指導も含めて、さまざまな会社や人に助けられました。

学ばねばならなかったのは技術だけでなく、会社経営の精神です。従業員が仕事に対して前向きに取



り組むには、どうすればいいのか。成長しながら学んだのは、まず何よりも、会社が従業員を裏切らないことです。給与、福利厚生、働く環境を整え、明るい気持ちで働いてもらう。これが結果につながる。

社会に対する責任も負わねばなりません。社会から与えられた資源と人材によって生産するのですから、その社会を損なうわけにはいきません。しかし、ものづくりはどうしても環境に影響を与えます。紡績と織布にはエネルギー、染色には水が必要で、ボイラーを焚けば大気を汚し、使った水は川を汚染します。

私たちは海外視察を重ね、社会的な責任を果たすには環境問題への取組みが欠かせないと学びました。そして、環境への負荷を極小化する生産を目指して、積極的な改革に取り組み始めました。

大気汚染については、地域全体の煙突を減らすという発想で、高い燃焼効率で一括で発電できる大規模な発電所をもちました。発電の過程で発生した高熱の蒸気を工場に送り、各所にあった工場の小型ボイラーを廃止しました。蒸気は地域住民の暖房用としても活用されています。

排水処理は、現在たいへん厳しくなった国家の規制基準を満たすのはもちろん、大規模な汚水処理場

をつくって、一般家庭の排水、他の工場の排水など、地域全体の汚水処理を引き受けることにしたのです。

日本の繊維産業で長年活躍され、早くから我々の工場の経営全般を見てくれるようになったのは、日本人の藤原英利(現最高顧問)さんでした。大きなことであれ小さなことであれ、常に進んで助けようとするその姿勢が、私たちに与えた影響ははかりしれません。「貧困援助基金」の創設も、藤原さんがきっかけでした。

我が社の従業員には貧困家庭の出身者もいます。実家を支えるためには、一人分の給与だけでは追いつかない場合もあるのです。そのような立場にいる従業員を救い上げる必要がある、と考えた藤原さんが、自らの資金を拠出して「貧困援助基金」が始まりました。

基金のスローガンは「慈心一日捐」。慈悲の心で一日分の給料を寄付しよう、という意味です。この運動は全社で取り組むものに広がりました。中国の古いことわざがあります。「君子は財を愛す、されど之を取るに道あり」。正しい道を歩んでこそ利益を得ることができる。まだまだ、やるべきことはある、と思っています。

魯泰紡織株式会社
デザイナー

邢海卿 (シン ハイチン)

本格的な オーケストラ。 実は全員従業員です

大学でファッション・デザインを学び、卒業後は、実家に近く両親も安心する魯泰(ルータイ)に就職した。

会社から自転車で5分の社宅は、家賃も光熱費もほぼ全額会社負担。会長の肝いりで創設された社内のオーケストラにも所属している。のびのびと働く、会社の環境について。



山東省の済寧(サイネイ)市出身です。もともと教育熱心な土地柄なので、まわりの友だちはみな、大学に進みました。実家に一番近かったこともあり、魯泰(ルータイ)と産学連携で新設された、山東理工大学のファッション・デザインの学部を志望しました。

在学中にはルータイの奨学金を何回かに分けて受けられたので、親の負担を最小限にすることができて感謝しています。

卒業後はいろいろ選択肢がありました。でもよく考えた末、ファッション・デザインができるし、両親に安心してもらえる会社ということで、ルータイを選びました。

入社するとすぐに研修です。まず、縫製工場のシャツの裾をかがる部署で約2カ月。予想していた雰囲気とはだいぶ違って、工場内には音楽が流れているし、みんな歌を聴きながらリラックスして働いていました。でもよく見ると、気楽そうでいて、指先や手の動きはすごく集中しているのがわかったんです。

その次は、班長のアシスタントをしばらく務めました。いろいろな役目を果たす班長をサポートしながら、現場のシステムと管理の仕組みを具体的に学びまし

た。強く感じたのは、どんな仕事をするにしても、簡単なものは一つとしてない、ということでした。

研修が終わると、デザインルームの配属になりました。シーズンごとの企画を立てるところから、テキスタイルの選択、デザイン、そしてコーディネートまで、すべて担当しています。年に2回のファッションショーでは、モデルの着こなしの最終チェックもします。

私はまだ独身なので、会社まで自転車をこいで5分の、2人部屋の社宅で暮らしています。賃料も、空調や床暖房などの光熱費も、ほぼ無料なので助かっています。

会社のオーケストラに所属しています。全社から集まって編成されるオーケストラで、歌手もいるんですよ。クラシックから中国の伝統音楽まで、レパートリーは幅広いです。日曜日ごとに本社のクラブルームに専門の先生が指導に来てくれます。コンサートが近くなると、全員で集中して取り組みます。

私はクラリネット、二胡、ハーモニカの担当。明日の夜は、各地から来賓を迎える晩餐会があります。そこでの演奏が楽しみです。

VOICE

魯泰(ルータイ)は国と連携して地元の職業学校の運営にかかわり、地域経済の活性化と、人材の育成に大きく貢献している。中国全土から注目される取組みとは。

魯泰職業学校
校長

李少鵬 (リ シャオベン)

貧困家庭の生徒への 奨学金も提供しています



正しい人間になることを学び、職業的な素養を身につけるのが、この学校の目的です。孔子像を校門の正面に建てたのは、同郷人であり、教育思想の体現者だからです。ルータイとの連携は1992年から始まりました。その結果、当時850人余りだった生徒数が、現在4,000人まで増えました。わが国の「中等職業学校発展改革モデル校」にも選出され、中国全土から注目されています。

職業の技能だけを教えるのであれば、3カ月でも可能です。私たちは技能よりも前に、正しい人間になることをじっくり学びます。健全な人格の形成があってこそ、職業的な素養を高めることができると考えるからです。

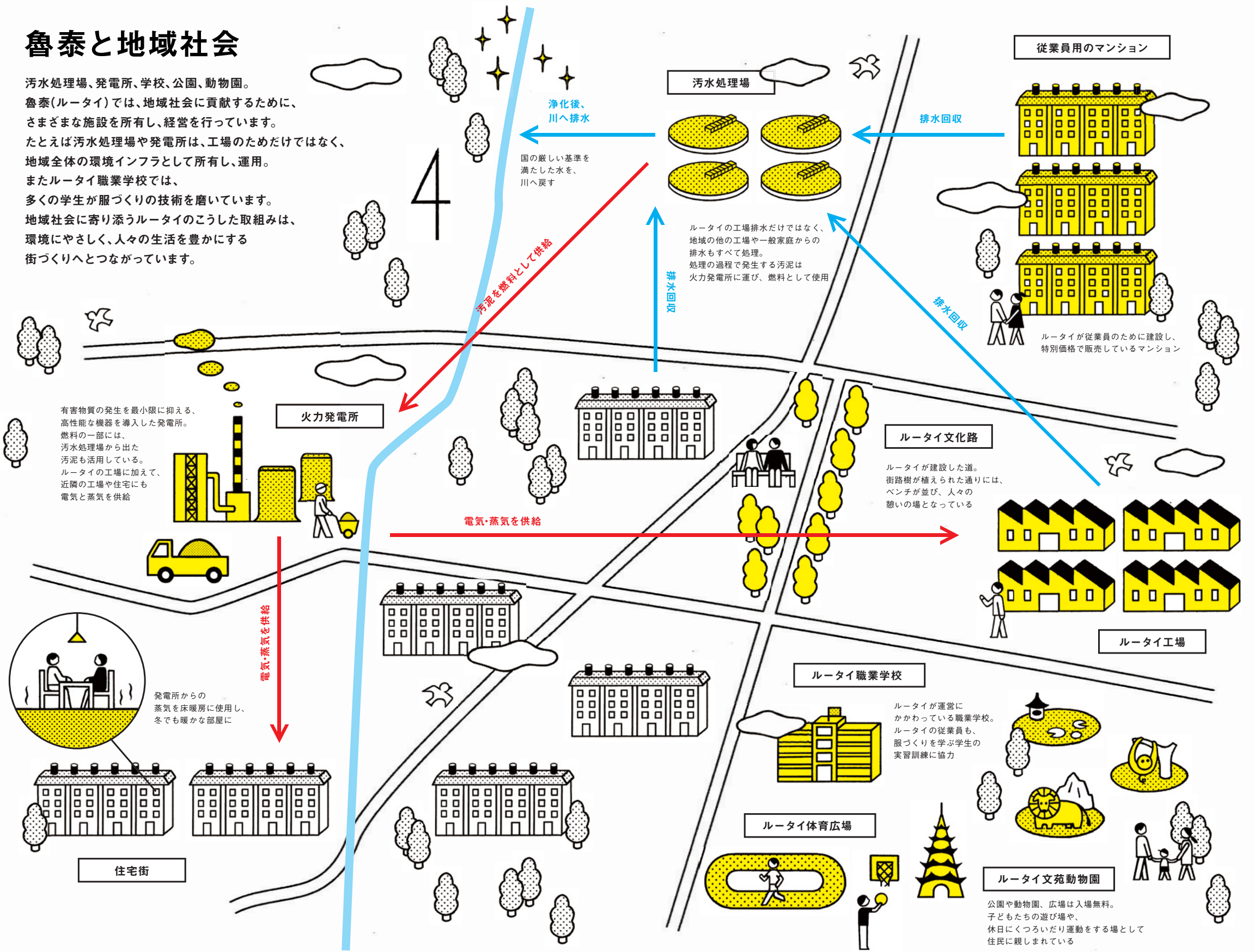
人材を何より大事にし、教育の役割を重視するルータイは、成績優秀な生徒への奨学金、貧困家庭の生徒への奨学金も提供しています。

この地域で果たすルータイの役割と貢献は、はかりしれないものがあると考えています。



魯泰と地域社会

污水处理場、発電所、学校、公園、動物園。
 魯泰(ルータイ)では、地域社会に貢献するために、
 さまざまな施設を所有し、経営を行っています。
 たとえば污水处理場や発電所は、工場のためだけではなく、
 地域全体の環境インフラとして所有し、運用。
 またルータイ職業学校では、
 多くの学生が服づくりの技術を磨いています。
 地域社会に寄り添うルータイのこうした取組みは、
 環境にやさしく、人々の生活を豊かにする
 街づくりへとつながっています。



有害物質の発生を最小限に抑える、
 高性能な機器を導入した発電所。
 燃料の一部には、
 污水处理場から出た
 汚泥も活用している。
 ルータイの工場に加えて、
 近隣の工場や住宅にも
 電気と蒸気を供給

発電所からの
 蒸気を床暖房に使用し、
 冬でも暖かな部屋に

国の厳しい基準を
 満たした水を、
 川へ排水

ルータイの工場排水だけではなく、
 地域の他の工場や一般家庭からの
 排水もすべて処理。
 処理の過程で発生する汚泥は
 火力発電所に運び、燃料として使用

ルータイが従業員のために建設し、
 特別価格で販売しているマンション

ルータイが建設した道。
 街路樹が植えられた通りには、
 ベンチが並び、人々の
 憩いの場となっている

ルータイが運営に
 かかわっている職業学校。
 ルータイの従業員も、
 服づくりを学ぶ学生の
 実習訓練に協力

公園や動物園、広場は入場無料。
 子どもたちの遊び場や、
 休日にくつろいだり運動をする場として
 住民に親しまれている

環境に配慮した 生地づくりの仕組み

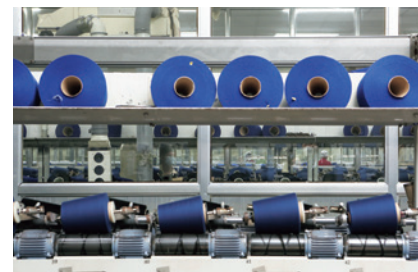
繊維から糸をつくり、生地を織る工程では、多くのエネルギーと水が必要です。魯泰(ルータイ)では、環境負荷を最小限に抑えるために、**污水处理場と火力発電所を自社で所有**。環境への配慮がいきわたった仕組みのなかで、**最高品質の生地を生産しています**。

ルータイ工場



1. 糸をつくる (紡績)

原料の繊維を糸の状態にする工程。魯泰(ルータイ)では、オートメーション化が進んでおり、良質な糸が瞬間に仕上がっていきます。



2. 糸を染める (先染め)

生地になってからではなく、糸の段階で染めることを「先染め」といいます。多くの水と染料を使う工程です。



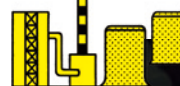
3. 生地を織る (織布)

縦糸と横糸を交差させ、生地を織る工程。先染めの糸を使用することで、チェック柄などの複雑な模様を織ることが可能。

污水处理場



火力発電所



使用後の水を浄化して川に戻すまで

糸を染める工程で使用した水など、ルータイの工場からの総排水量は、約1万トン/日。使用後の水はすべて浄化し、国家が定める厳しい基準値を満たしたうえで、川に戻しています。使用後の水はまず、工場内の汚水ステーションで回収。この段階で、国家が定める基準値に適合するまで浄化します。法律上はここまでの処理で良いのですが、ルータイでは、自社の排水に責任をもつだけでなく、地域全体の水質を改善するために、大規模な污水处理場を所有・運用し、さらに浄化の精度を高めています。污水处理場では、工場内での処理を終えた自社の排水に加えて、地域の他の工場や一般家庭の排水も一括して引き受けています。その処理能力は、約8万トン/日。ルータイは、高度な技術を有する污水处理場で、地域全体の浄水処理を担うことで、水質汚染のない、安心して暮らせる社会づくりに貢献しています。また資源を最大限に活かすために、污水处理に伴い発生する汚泥も有効活用しています。不純物の除去後に残る汚泥を乾燥させてから(写真a) 自社所有の発電所に運び、燃料の一部として役立てています。

環境にやさしい発電と供給の仕組み

ルータイの工場には、煙突が1本もありません。それは、他の多くの工場が小型のボイラーで自家発電を行い、排ガスを各工場から放出しているのに対し、ルータイでは自社で大規模な火力発電所を所有し、一括して環境負荷の少ない方法でエネルギーを生成しているためです。ルータイの発電所は、何よりも地域の環境に配慮して建設された施設です。高機能な設備を導入し、効率良くエネルギーを生成しながら、排ガスに含まれる硫黄化合物や窒素酸化物などは除去。淄博(ズイーボ)市内にある同規模の発電所のなかでは、もっとも高い環境性能を誇ります。また燃料の一部には、污水处理場で発生した汚泥を粉砕して、使用しています(写真b)。発電所で生成した蒸気は、地下からルータイの工場に送られます。この蒸気を、生産工程で使用する動力源として活用。さらに他社工場の生産用蒸気や、一般家庭の冬期暖房用蒸気も提供しており、地域のエネルギー供給源として重要な役割を果たしています。最先端の技術を取り入れることにも積極的です。担当者が日本の発電所を視察するなど、日本企業との協働も視野に入れながら、地域への環境影響を最小限に抑えていくことを目指しています。

魯泰紡織株式会社
代表取締役社長

刘子斌 (リュウ ツービン)

環境はもちろんのこと 人間も大切です

中国は10%近い成長率で発展し、その結果、環境問題が深刻化した。環境対策は一刻の猶予も許されないという認識が急速に広まっている。具体的な環境対策ばかりでなく、人材を重視する企業として取り組むのは、地域の学校教育への積極的な参加と、労働環境の向上のためのIT化だ。



私たちや工場の様子をご覧になって、日本人であるみなさんから「誠実で真面目な感じがする」といわれるのは、たいへん光栄なことです。

山東人は「感情をあまり表に出さず、誠実である」とよくいわれます。歴史的に言えば、山東省は孔子、孟子の故郷でもあります。

ただ、誠実にやっても、企業が前進すれば必ず課題が現れます。今、私たちが全力で取り組んでいるのは、環境問題です。

中国はこれまでの30数年間、10%近い成長率で発展しました。その一方、環境破壊が深刻になりました。経済発展が遅れた地方では中央に追いつこうとするあまり、環境対策が軽視される傾向があったのは事実です。

しかしここ数年、環境対策は一刻の猶予も許されないという認識が急速に広がっています。資源の利用を最小限にし、汚染を減らす。地域と連携した污水处理場、火力発電所も、その具体的な取組みです。

環境はもちろんですが、人間も同じように大切です。国と連携して学校運営にかかわるようになったのは、それが理由です。以前は成績優秀な学生は普通高校に上がり、大学を目指し、勉強が苦手な学生

が職業学校に行く、という道筋でした。望んで入る学生も少なく、卒業後も就職が約束されていませんでした。

私たちは地域の学校と相談し、紡績と服飾の課程を開設しました。実習用の校舎を建設し、専門の教員、実習用の機械、奨学金や助成金の提供を始めました。学費の捻出が厳しい成績優秀な学生には、授業料を免除しています。

その結果、魯泰(ルータイ)職業学校を志望する学生が増え、卒業生は紡績の社会的な役割の意識が高く、離職率も激減しました。

企業と学校の共同運営が、最初に始まったのはドイツだと聞いていますが、ルータイの教育への取り組みは、今は中国全土で注目されるモデルケースになっています。

人間本位という価値観が土台にあってこそ、競争力のある企業たり得る、という考えはこれからも変わりません。従業員の労働環境を向上させるために、オートメーション化、IT化も進め、インテリジェント工場へと進化させるのが現在の課題です。製品の品質をさらに高め、社会に尊敬され、従業員に愛される会社として成長を続けたいと思います。

魯泰紡織株式会社
最高顧問

藤原英利

10年かかって 築き上げた信頼も、 失うのは一瞬です

日本の繊維産業で長らく働いた経験を買われて、中国の工場へ。真面目で優秀な中国の従業員たちとゼロからスタートさせた日々。企業にとって一番大事なものは、人であり、品質であり、地域社会であるという考えのもと、これまで中国で積み重ねてきたこと。



私は1940年の生まれで、ルータイの会長と同じ年です。兵庫県西脇の紡績・染色の会社で長らく働いていました。西脇は先染めで世界的に知られた土地です(注:「先染め」とは、糸の段階で染めること。生地を染めるのは「後染め」)。「先染めを始めたいので手伝ってほしい」と声をかけられたのは、ルータイの創業から4年目でした。

機械も染料もすべてゼロからのスタート。今思えば、それが良かった。彼らは覚えが早いし、手先も器用。そのうえ真面目で、きわめて優秀な人たちだった。だから、苦労よりも楽しみの方がはるかに多かったですね。

企業にとって一番大事なものは、働く人の質、働く人の意欲です。良い素材だけあっても、良いものはいつくりません。ルータイが学校の運営にかかわるようになったのも、人が企業を支えるという考えからでした。

市内の幹線道路や公園を整えたり、動物園、運動場をつくって無料で開放したり、マンションを建てて従業員に特別価格で提供したり、ここで生まれ育った会長が、地域密着型の企業として、できることは何でも貢献してきた。従業員によるオーケスト

ラもあります。

従業員の8割は地元出身です。親も会社を知っているし、信頼もしている。その信頼を損なうわけにはいかない。今が良ければそれでいい、というやり方はいけません。社会的な責任は、私たちにとってお題目でもなんでもありません。10年かかって築き上げた信頼も、失うのは一瞬ですから。

綿花の品質はとても大事です。商品の良し悪しの半分は人がつくる。残りの半分はやっぱり素材です。綿花の栽培にぴったりの気候だった新疆(シンキョウ)ウイグル自治区に自社の綿花畑をつくったのも、素材重視の方針があつたことでした。

綿花畑をつくるのと同時に、現地に小学校を建設しました。学校運営については地元の方々にお任せしていますが、学校を建てたのは、単なる生産地としてかかわるだけでなく、社会貢献できる企業として、新疆とかかわるべきだと考えたからです。

新疆の夜空は、本当に素晴らしいですよ。これまでの人生で、あれほどたくさんの星を見たことはありません。いい場所で綿花つくらせてもらっているなあ、と感慨深いものがありました。忘れられない経験ですね。



環境への負荷を最小限に抑えながら 地域社会に貢献する企業を目指して

服をつくり、服を販売する、という日々の活動をとおして、ユニクロは「服を変え、常識を変え、世界を変えていく」ことを目指しています。世界は今、グローバルにつながると同時に、地域の人々とその環境が損なわれることのない、共生への取組みが求められています。ユニクロはその先頭に立ち、グローバルな視点からの貢献と、地域への貢献をともに目指す企業にならなければいけない、と考えています。

服の製造には資源が必要です。製造の過程では、資源を生み出す環境に少なからず負荷をかけることとなります。資源の減少、大気汚染、河川汚染は、多様な生命を擁する地球環境の持続性に影響を与えます。そのために私たちは、なすべきことを実行する必要があります。

グローバルに活動する企業である以上、手を結ぶパートナーが活動する国と地域で、環境に負荷を与える問題が見つければ、私たちはその課題をパートナーと共有し、解決に向けて働きかけ、ともに改善への施策を実行しなければなりません。大気や河川、海は、国境を越えて広がっています。私たちの地球環境に、国境はありません。

グローバルな企業であっても、店舗や工場はそれぞれの地域社会のなかで位置づけられ活動します。地域社会に認められ、地域社会に参加し、地域社会に貢献することなくして、発展することはあり得ません。働きがいのある労働環境を整えて、地域と人々がともに発展していく。そのために解決すべきことを発見する——これも私たちの仕事です。

さまざまな課題が目前にあります。私たちは地域社会と連携しながら、課題の解決に一つひとつ正面から向き合い、より良い世界の実現に向かって、これからも真摯に、全力で取り組んでいきます。

<http://www.fastretailing.com/jp/csr/>

<http://www.uniqlo.com/jp/csr/>